# 追　憶

昭和8年卒業　中　島　輝　年

新町小学校は西に知事公邸、県庁と小川のせせらぎ。東に裁判所の広い庭と火の見やぐら。北に市役所、赤十字、警察署。南に田口牧師の幼稚園、その中に柳と桐に包まれた静かな新町小学校があった。

商家と官僚の子が多いせいか、天長節・明治節なぞ祝日ともなれば、女の子はきれいな着物で、おさげにリボンを結び、プンプン良い香りをなびかせていた。先生もみんなキチンとして、女の先生は美しく、男の先生は堂々と胸を張って教えてくれた。学級内は先生を中心に、すてきな雰囲気であった。私は父のあとを継いで土木技師になろうと勉強したものだ。同級生には作家の高木彬光、石川元章等の秀才がいた。今と違ってライバルとして張り合うこともなく、マイペースで勉強し、共に楽しく遊んだものだ。

近頃、学校生活に色々と問題があるようで、孫の通学にも心配することがある。でも先日長島小学校に教頭先生をたずねたら、その心配はまったく無い。子供達は目を輝かして走っていた。孫達にしてみれば、私達が新町小学校を懐かしむように、50年もたてば長島小学校を偲んで、記念事業を考えるのであろう。

このたび青い森公園に「思い出の像」を建立するに当たり、知事・県議のお世話になった。めんどうな公園法の条件も満たされて、卒業生一同に心地よい遺産を残させてもらい深く感謝している。もしも更にお願いできるものなら、この「思い出の像」が子供と教師、そして人と学校の深いきずなを表現した教材として、私達の遺産を伝えてほしい。

願わくば、新町小学校の優しく美しい栄光が、思い出の像と共に永遠に残らんことを。そしてすべての学校が、再び戦火にあい焼失して、子供達を泣かせることが無いように、この「思い出の像」が、いささかでも平和のみしるしともなれば幸である。

―月刊キャロット誌144号掲載分より―

## 新町小学校記念誌
### 思い出の像設置記録

除幕式　昭和60年7月28日午前11時
設置場所　青森市　青い森公園内
祝賀会　青森市　グランドパレス大清

新町小学校を偲ぶ会

製作　鈴木正治氏　2020年2月7日撮影

## 新町小学校　思い出の像

青森県庁の東側、現在の青い森公園は以前県立病院でしたが、その前には新町小学校が建っていました。残念なことに、昭和20年の青森空襲で焼けて閉校しました。それから40年後の昭和60年、公園整備の時に新町小学校の思い出の像が建ちました。卒業生の彫刻家鈴木正治さんが製作し番地銘石で施工しました。以来夏の日差しを浴び、冬の雪をかぶりながら公園の東側に堂々とそしてのびのびと新町小学校の思い出を伝えています。

今回は、「新町小学校記念誌思い出の像設置記録」から像の実現に尽力された中島輝年さんの挨拶文をご紹介します。

青い森公園を訪れた際には、鈴木正治さんの彫刻のぬくもりに触れてみてください。